

・・・プロフィール・・・

- 第二次世界大戦中の昭和18年(1943年)11月18日、現在のJR東海・浜松工場で産声(うぶごえ)をあげる。
- 木曾福島機関区(長野県)を中心に大活躍。総走行距離は、1,795,572.4km。
(月へ2.5往復の計算)
- 昭和46年(1971年)8月19日、引退。
- 昭和47年(1972年)4月15日、町田市へ。第二の人生(車生?)が始まる。

デゴイチなんでもQ&A

Q1:「デゴイチ」の特徴を教えてください。

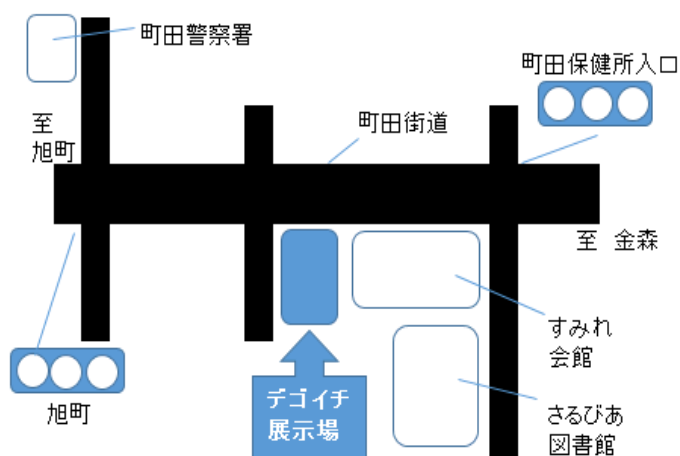
A1:この「D51型蒸気機関車」は、過熱テンダ機関車といい、機関車のすぐ後ろに石炭と水を積む「テンダ(炭水車)」を引っぱっています。石炭と水を多く積むことができるため、長距離運転に向いています。

また、貨物列車を引っぱる目的でつくられたので、引っぱる力(引張力・いんちょうりょく)を大きくするため、直径の小さい動輪を多くつけています。機関車自体は重くても、動輪にかかる重さは軽くなるようにしてあり、最大1,280馬力の力を出すことができます。もっとも多く製造されたこの機関車は、通称「デゴイチ」の名前で親しまれています。

Q2:「D51型」の意味は?

A2:蒸気機関車の形式は、アルファベットと数字の組み合わせであらわしています。動輪の軸の数が2つの場合はB、3つの場合はC、4つならD・・・とし、次の数字はテンダ機関車の場合、50から99までの数字を使用しています。

「D51862」の場合、Dは動輪の軸が4本あることを示し、次の51は炭水車(たんすいしゃ)を引いていることをあらわしています。そして、862はD51型の862番目につくられたことを意味しているのです。



【デゴイチ展示場】

町田市中町2丁目 565-1
(すみれ会館となり)

